



\*本リリースは7月13日に米国アトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2023年7月14日

## デルタ航空、2023年第2四半期の業績を発表

- 過去最高の四半期収益と利益率を達成
- 強力な営業キャッシュフローによって負債削減を加速
- 第3四半期は過去最高の収益、10%台半ばの営業利益率、2.20~2.50ドルのESPを予測
- 通年のEPS見込みを6~7ドルに引き上げ、フリーキャッシュフローも引き続き30億ドルの予測

【米国アトランタ、2023年7月13日】 – デルタ航空（NYSE:DAL）は本日、6月を期末とする2023年第2四半期の業績と2023年第3四半期の業績予測を発表しました。GAAP基準および調整済みの結果を含む、デルタ航空の第2四半期の業績の概要は以下のとおりです。

デルタ航空の最高経営責任者、エド・バステアン（Ed Bastian）は次のように述べています。「デルタ航空は、チーム全体の尽力により、夏の繁忙期に安定した運航実績とベストインクラスのサービスをお客様に提供しています。これにより、第2四半期は過去最高の収益と利益率を達成しました。デルタ航空の従業員は業界トップの専門家です。彼らの功績に報いるため、来年のプロフィットシェアリング（利益分配）費用のうち最初の半分として6億6700万ドルを計上しました。空の旅に対する消費者需要は引き続き堅調です。これを背景に2023年通年の1株当たりの利益予測を6ドルから7ドルに引き上げました。フリーキャッシュフローも先ごろ予測を引き上げたとおり30億ドルの見込みです。」

### 2023年第2四半期（4月~6月期）のGAAP業績結果

- 営業収益は過去最高の156億ドル
- 営業利益は過去最高の25億ドル、営業利益率は16.0%
- 税引前営業利益は23億ドル、税引前営業利益率は14.9%
- 1株当たりの利益は2.84ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは26億ドル
- 負債とファイナンスリースの債務合計は18億ドル
- 四半期末の負債とファイナンスリースの債務合計は202億ドル

### 2023年第2四半期（4月~6月期）の調整済み業績結果

- 営業収益は過去最高の146億ドルで、2022年の同四半期と比べて19%増加
- 営業利益は過去最高の25億ドル、営業利益率は17.1%
- 税引前営業利益は22億ドル、税引前営業利益率は15.2%
- 1株当たりの利益は2.68ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは26億ドル
- フリーキャッシュフローは11億ドル
- 四半期末の調整済み純負債は198億ドル

## 2023年第2四半期(4月~6月期)と通年の業績予測<sup>1</sup>

	2023年第3四半期予測	2023年通年予測
収益合計、前年比	+11% - 14%	+17% - 20%
営業利益率	10%台半ば	>12%
一株当たり利益	\$2.20 - \$2.50	\$6 - \$7

<sup>1</sup> 非 GAAP 指標、比較値は非 GAAP 調整を参照

財務モデルの追加指標については、[ir.delta.com](http://ir.delta.com)に掲載されている四半期業績の補足情報をご参照ください。

### 収益環境と予測

デルタ航空の社長、グレン・ホーエンスタイン (Glen Hauenstein) は次のように述べています。「第2四半期は、2022年同期比で19%増となり、過去最高の収益を達成しました。このような結果は需要環境の堅調さとデルタ航空従業員の努力、そしてデルタ航空のブランド力によるものです。堅調な需要は第3四半期中も続き、収益合計は第2四半期に匹敵すると予想しています。2022年の第3四半期に比べて輸送容量は16%増加し、収益は11%~14%増加する見込みです。」

- **単位収益 (ユニットレベニュー) は引き続き堅調**：第2四半期の単位収益合計 (TRASM) は2022年同四半期に比べて1%増加しました。ロードファクターとイールドが改善したため、輸送容量は17%増加しました。
- **国際線の業績は過去最高を達成**：第2四半期の国際線旅客収益は過去最高を達成し、前年同期比で61%増加しました。利益率も過去最高を記録しました。大西洋路線は米国の消費者需要の高まりによって好調で、特に欧州向けが高い業績を達成しました。太平洋路線では日本市場の再開、大韓航空との共同事業 (ジョイントベンチャー) 提携による効果が見られました。中南米路線は南米やカリブ海沿岸地域への旅行需要によって引き続き堅調です。またラタム航空との共同事業も順調に進んでいます。
- **引き続き堅調な米国内線需要**：第2四半期の米国内線旅客収益は前年比で8%増加しました。輸送容量も同程度増加しました。法人顧客収益も前年比で増加しました。最近の企業向け調査結果によると、93%が2023年第3四半期中の航空機利用による出張ニーズが引き続き同様または増加すると回答しています。
- **プレミアムプロダクトおよびロイヤルティが収益の多様化を推進**：プレミアムプロダクトの収益増加率は引き続きメインキャビンの収益増化率を上回り、前年比で25%増加しました。ロイヤルティの収益は提携クレジットカードの新規会員と使用量の増加によって20%増加しました。第2四半期中のアメリカンエクスプレスからの収益は17億ドルで、前年と比べて約22%増加しました。

### コストパフォーマンスと予測

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ (Dan Janki) は次のように述べています。「サステナビリティの再構築を終えた今、燃料以外の単位費用 (ユニットコスト) は上げどまりの重要なターニングポイントを迎えました。下半期には主要な保守費用も正常化し、スケールメリットや効率が期待できます。第3四半期は燃料以外の単位費用が昨年比で1~3%減少する見込みで、一桁台前半という下半期中の減少率予測を維持しています。」

### 2023年第2四半期のコストパフォーマンス

- 第2四半期の営業経費は131億ドル、調整済み営業経費合計は121億ドル
- 第2四半期の燃料以外の調整済み費用は90億ドル
- 第2四半期の燃料以外のCASMは前年比で2.4%増加
- 調整済みの燃料費は25億ドル、2022年同期比で24%減少
- 精油所による利益分4セントを含む1ガロン当たり調整済み燃料費は2.52ドルで、2022年と比べて34%減少
- 1,000ASM当たりのガロン数として定義される燃料効率は14.4で、2022年と比べて1%改善

## バランスシート、キャッシュと流動性

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ（Dan Janki）は次のように述べています。「デルタ航空は事業への再投資を継続的に行いながら、上半期に 29 億ドルのフリーキャッシュフローを達成しました。2023 年通年のフリーキャッシュフローは 30 億ドルの見込みです。今年中に 40 億ドル以上の返済達成を目指すことで負債返済を加速します。今年末までにレバレッジを 3 倍まで下げ、2024 年には投資グレード指標を達成できる見込みです。第 2 四半期中に四半期配当も再開しました。これはイールド重視の投資家にも株主になってもらえる重要なマイルストーンです。」

- 第 2 四半期末時点の調整済み正味負債額は 198 億ドルで、2022 年末から 25 億ドル減少。
- 第 2 四半期中の負債とファイナンスリースの債務支払い合計は 18 億ドル。これには償還分の 8 億ドルと平均利率が 7%の償還前債券買戻し分 10 億ドルが含まれます。
- 加重平均利率は 4.6%で 88%が固定金利の負債、12%が変動金利の負債。
- 調整済みの営業活動によるキャッシュフローは第 2 四半期としては過去最高の 26 億ドルで、総資本支出が 16 億ドル、フリーキャッシュフローが 11 億ドルでした。
- 四半期末のエアートラフィックライアビリティは 104 億ドルで、2022 年末と比べて 5 億ドル増加しました。
- 四半期末の流動性資産\*は 88 億ドル（リボルビング与信枠残高 28 億ドルを含む）。

\*現金と現金同等物、短期投資およびリボルビング与信枠残高を含む

## 2023 年第 2 四半期のその他概要

### 運航、ネットワークと機材

- 5年連続で米オンライン業界誌 The Points Guy に米国のトップエアラインとして選出されました。信頼性、顧客エクスペリエンス、ネットワーク、ロイヤルティプログラムで引き続き高い評価を得ました。
- 大西洋路線では、2022 年夏スケジュールと比べて座席輸送容量を 20%増加、週 650 便以上 32 都市に運航し、デルタ航空史上最大の運航規模を実現しました。
- デルタ航空とラタム航空は、米国－コロンビア間の路線を拡大し、ラタム航空初のアトランタ線就航を発表しました。
- エルアル・イスラエル航空との戦略的提携に関する合意文書に署名し、スムーズな乗り継ぎ、相互コードシェア、マイルージサービス特典での提携を開始しました。
- 今年に入って現在までに 18 機の航空機を受領しました。このうち A321neo、A220-300、A330-900 を含む 12 機が第 2 四半期中に納品されました。追加で 12 機の A220 を購入する権利を行使し、さらに A330-9001 機を追加発注しました。

### 企業カルチャーと人材

- 最高運航責任者（Chief Operating Officer）にマイク・スパンズ（Mike Spanos）が、最高マーケティング責任者（Chief Marketing Officer）にアリア・ティルマン（Alicia Tillman）が就任しました。
- 第 2 四半期中にプロフィットシェアリング（利益分配）プログラムに 5 億 9500 万ドルを計上しました。これにより上半期中に 6 億 6700 万ドルを計上することができました。これは 2022 年通年よりも多い金額です。
- 2023 年 4 月 1 日に、世界中の該当する従業員に対して 5%のベースアップを行いました。これにより、業界をリードする業績に対して業界トップの報酬を、という企業哲学を維持しました。
- フォーチュン 500 のトップ 100 社を対象にした ROL100 (Return On Leadership 100)ランキングにおいて、戦略の明確性で第 1 位、リーダーシップの連携で第 2 位を獲得し、全体では第 20 位にランクインしました。
- フォーブス誌による最も多様性に配慮した企業（Best Employers for Diversity）の 1 つに選出され、LinkedIn によるキャリアアップ推進企業の 1 つにも選出されました。
- また 6 年連続でボランティア団体ポイント・オブ・ライト（Points of Light）により米国で最もコミュニティに配慮した企業 50 社（The Civic 50）に選ばれました。
- 6 年連続で米国赤十字社から法人献血活動のトップスポンサーとして認められ、献血量は過去最高を達成しました。

### カスタマーエクスペリエンスとロイヤルティ

- 第 2 四半期中に 300 万人以上の「スカイマイル」プログラム新規会員を獲得し、2 四半期連続で史上最高数を達成しました。
- アメリカンエクスプレスからの収益は史上最高を達成し、プレミアムカードの取得数も増加しました。
- スカイマイル会員向け高速 Wi-Fi の導入を全機材で進めています。540 機以上に導入完了し、2024 年末までにすべての国際線機材にも導入する予定です。
- お客様向けにカスタマイズした機内エクスペリエンスを提供する全く新しいプラットフォーム、デルタ・シンク（Delta Sync）の導入を開始しました。
- スカイトラックス（Skytrax）のワールド・エアライン・アワードで、北米で最も優れたエアラインに選ばれました。北米で最も優れたエアラインスタッフサービスでも 1 位を獲得しました。
- J.D. パワーにより 2023 年の No.1 プレミアムエコノミーに選ばれました。
- ラガーディア空港で新たにオープンしたターミナル C と、ロサンゼルス空港のターミナル 3 が、コンデナスト・トラベラー誌の「完璧な旅を計画するための究極のガイド」で 2023 年のホットリストにランクインしました。
- ミネアポリス国際空港に 3 番目となるデルタ スカイクラブを開設しました。同空港で最大規模の 450 席以上を有し、同空港で初となる屋外デッキ「スカイデッキ」も備えています。
- ソルトシティ空港で新たに 5 つのゲートを開設し、コンコース A の東側を今年末までに完成する予定です。

### 環境、社会、およびガバナンス

- デルタ航空の年次 ESG レポート を発行しました。2022 年中にデルタ航空が行ったサステナブルな未来に向けた取り組みや、多様なコミュニティを反映した、安全で公平な職場作りに関する事例を紹介しています。
- 1000 万ガロンの SAF（持続可能燃料）をシエル・アビエーション社から購入し、SAF に対するコミットメントを加速しています。今後 2 年の間に納入される SAF はロサンゼルス国際空港で使用する予定です。
- ソルトレイクシティ空港とボストン空港でほぼすべての主要な地上サービス車の電氣化を完了しました。最終的にはアトランタ、ロサンゼルス、シアトル、ミネアポリス、ニューヨーク JFK、ラガーディアの各空港にも拡大する予定です。
- スカイチームのサステナブル・フライト・チャレンジに参加しました。

## 2023年第2四半期（4～6月期）の業績

第2四半期の業績は主としてサードパーティへの精油所売上、投資含み益、負債償還による損失、注Aに記載された理由により調整されています。

(株式データを除き単位は百万ドル)	GAAP			
	2023年 第2四半期	2022年 第2四半期	\$増減	%増減
営業利益	2,491	1,519	972	64 %
営業利益率	16.0 %	11.0 %	5.0 pts	45 %
税引前利益	2,317	1,033	1,284	NM
税引前利益率	14.9 %	7.5 %	7.4 pts	99 %
純利益	1,827	735	1,092	NM
1株当たり希釈利益	2.84	1.15	1.69	NM
営業収益	15,578	13,824	1,754	13 %
有効座席マイル当たりの売上合計 (TRASM) (セント)	22.58	23.47	(0.89)	(4) %
営業経費	13,087	12,305	782	6 %
有効座席マイル当たりのコスト (CASM) (セント)	18.97	20.89	(1.92)	(9) %
燃料費	2,516	3,223	(707)	(22) %
1ガロン当たりの平均燃料価格	2.52	3.74	(1.22)	(33) %
営業キャッシュフロー	2,609	2,535	74	3 %
資本支出	1,452	958	494	52 %
負債とファイナンスリースの債務合計	20,205	24,839	(4,634)	(19) %

(株式データを除き単位は百万ドル)	調整済み			
	2023年 第2四半期	2022年 第2四半期	\$増減	%増減
営業利益	2,494	1,445	1,049	73 %
営業利益率	17.1 %	11.7 %	5.4 pts	46 %
税引前利益	2,220	1,222	998	82 %
税引前利益率	15.2 %	9.9 %	5.3 pts	54 %
純利益	1,723	921	802	87 %
1株当たり希釈利益	2.68	1.44	1.24	86 %
営業収益	14,613	12,311	2,302	19 %
TRASM (セント)	21.18	20.90	0.28	1 %
営業経費	12,119	10,866	1,253	12 %
燃料以外の費用	9,011	7,516	1,495	20 %
燃料以外の単位コスト (CASM-Ex) (セント)	13.06	12.76	0.30	2.4 %
燃料費	2,513	3,296	(783)	(24) %
1ガロン当たりの平均燃料価格	2.52	3.82	(1.30)	(34) %
営業キャッシュフロー	2,648	2,465	183	7 %
フリーキャッシュフロー	1,094	1,608	(514)	(32) %
資本支出合計	1,572	864	708	82 %
調整済み純負債	19,841	19,578	263	1 %

**デルタ航空について** デルタ航空（NYSE: DAL）は心のこもったサービスとイノベーションの力で、お客様一人ひとりに合った旅の形を追求しています。毎日 4,000 便以上のデルタ航空便が世界 6 大陸、280 都市以上の人々をつなぎ、デルタ航空の 9 万人以上の従業員が世界トップクラスのサービスを提供しています。

デルタ航空は今年、2 億人近くのお客様に安全で信頼性の高いサービスを提供する見込みで、革新的な顧客サービスで業界をリードし、[北米で最も定時運航率の高い航空会社として認められています](#)。デルタ航空は、未来の旅がよりパーソナライズされ、楽しいものになるよう尽力しています。そして旅のあらゆる場面ですべてのお客様を温かくもてなし、大切に接すること、それがデルタ航空の揺るぎない信念です。

アトランタに本拠地を置くデルタ航空は、アムステルダム、アトランタ、ボストン、デトロイト、ロンドン（ヒースロー）、ロサンゼルス、メキシコシティ、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク（JFK およびラガーディア）、パリ（シャルルドゴール）、ソルトレイクシティ、シアトル、ソウル（インチョン）、東京を主要なハブ空港および市場として運航しています。

世界をリードする航空会社として、デルタ航空は世界中の人々やコミュニティ、潜在能力をつなぐことで機会創出、理解促進、可能性拡大を目指しています。

アエロメヒコ航空、エールフランス-KLM、中国東方航空、大韓航空、ラタム航空、ヴァージン アトランティック、ウェストジェットとの画期的で戦略的なパートナーシップにより、デルタ航空は世界中のお客様に、より多くの優れた選択肢を提供しています。

プロフェッショナルで熱心な従業員に恵まれたデルタ航空は米国で最も受賞歴の多い航空会社です。シリウム社には優れた運航実績が評価され、ウォールストリートジャーナル紙には米国で最も優れた航空会社として認められています。ファスト・カンパニーには最も革新的な企業の 1 つとして選ばれ、フォーチュン誌には最も賞賛される航空会社と評価され、グラスドアの最も働きやすい職場の 1 つにも選ばれています。フォーブス誌には多様性に配慮した雇用、退役軍人の雇用、女性に最適な職場の観点でトップ企業と評価されています。

#### **将来予想に関する記述**

弊社の将来的な推定値、期待値、信条、意図、予測、戦略など、歴史的な事実ではないこのプレスリリースにおける記述は、1993 年の証券法とその改定版、1934 年の証券取引法とその改定版、1995 年私募証券訴訟改革法で定義されている「将来予想に関する記述」と見なす必要があります。この種の記述内容は保証されておらず、成果を約束するものではありません。すべての将来予想に関する記述には複数のリスクと不確定要素が関連しており、将来予測に関する記述で反映または示唆された推定値、期待値、信条、意図、予測、目標、願望、コミットメント、戦略と大きく異なる場合があります。実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる危険性および不確実性には、COVID-19 パンデミックへの対応のための多額の負債、弊社の融資契約における財務その他の条項の違反、弊社または弊社のパートナー企業の航空機が関与する事故によって発生する可能性のある影響、弊社が依存している技術システムとそこに保存されているデータのセキュリティ侵害または不備、常に進化する全世界のプライバシーおよびセキュリティ規制へのコンプライアンス不足、あるいはプライバシー問題やデータセキュリティに関して高まる顧客の懸念への対応不足、弊社の情報技術インフラストラクチャの中断、弊社の運営上の技術依存度、他国の航空会社とのビジネス上の関係および当該企業への投資、弊社が依存している第三者の業務上または経営上の深刻な中断による影響、無形資産または長期資産を完全に活用できない状況、労働問題、悪天候、自然災害、気候変動による影響によるものを含むその他の環境事象など、季節性やその他制御不能な要因が弊社事業に及ぼす影響、航空機燃料費の変動、航空燃料の長期的な供給停止（デルタ航空の完全子会社である Monroe Energy, LLC（「モンロー」）からの供給を含む）、モノローレイナー精油所での大規模な損害賠償に対する保険適用能力の欠如、再生可能燃料標準規制遵守に関連するコストなど、モノロー精油所が既存および将来的な環境規制に違反したことによる影響、企業としての評判やブランドが大きく棄損される行為（大規模な非難や中傷のリスクや特定の持続性目標達成失敗など）、弊社の経営陣およびその他主要な社員および企業カルチャーを維持する能力、COVID-19 パンデミックや類似の公共衛生を脅かすような病気の発生とその対策、テロ攻撃や地域紛争、セキュリティ事象による影響、航空産業における競争状態、弊社が就航している主要空港におけるサービスの長期的な中断または混乱、運用している航空機やエンジンの種類に関連する深刻な問題、弊社事業に対する大幅な行政規制の影響、弊社事業に対する環境規制厳格化（二酸化炭素排出量規制の強化、気象変動関連の他のリスク、環境規制厳格化へのコンプライアンスに伴うコストなど）による影響、弊社が事業を展開している市場の経済状況または政情悪化、外国為替レートの変動がありますが、これらに限定されません。

実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる、危険性および不確実性に関する追加情報については、2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日会計年度の Form 10-K に記載された弊社の年次報告など、弊社の米国証券取引委員会関連ファイルに記載されています。なお弊社の将来予測に関する記述は本プレスリリース発行日現在の弊社の観点を示すもので、現時点では法律で定められた場合を除き、更新の意図がないため、過度に依存することのないようご注意ください。

**デルタ航空**  
**連結損益計算書**  
**(未監査)**

(株式データを除き単位は百万ドル)	6月30日までの 3ヶ月間				6月30日までの 6ヶ月間			
	2023年	2022年	\$増減	%増減	2023年	2022年	\$増減	%増減
	<b>営業収益：</b>							
旅客	\$ 13,205	\$ 10,958	\$ 2,247	21 %	\$ 23,616	\$ 17,865	\$ 5,751	32 %
貨物	172	272	(100)	(37) %	381	561	(180)	(32) %
その他	2,201	2,594	(393)	(15) %	4,340	4,747	(407)	(9) %
営業収益合計	15,578	13,824	1,754	13 %	28,337	23,173	5,164	22 %
<b>営業経費：</b>								
給および関連コスト	3,692	2,955	737	25 %	7,078	5,782	1,296	22 %
航空機用燃料と関連税	2,516	3,223	(707)	(22) %	5,192	5,315	(123)	(2) %
付属事業と精油所	1,173	1,718	(545)	(32) %	2,298	3,100	(802)	(26) %
委託サービス	994	791	203	26 %	2,004	1,544	460	30 %
着陸料およびその他賃料	617	546	71	13 %	1,201	1,050	151	14 %
航空機メンテナンス材料および外部修理	614	522	92	18 %	1,199	988	211	21 %
旅客コミッションおよびその他販売経費	651	526	125	24 %	1,152	838	314	37 %
減価償却	573	510	63	12 %	1,137	1,016	121	12 %
地方路線キャリア費用	559	528	31	6 %	1,117	1,018	99	10 %
パイロット契約と関連する費用	—	—	—	NM	864	—	864	NM
旅客サービス	442	369	73	20 %	859	644	215	33 %
プロフィットシェアリング	595	54	541	NM	667	54	613	NM
航空機賃料	132	127	5	4 %	264	249	15	6 %
その他	529	436	93	21 %	1,090	840	250	30 %
営業経費合計	13,087	12,305	782	6 %	26,122	22,438	3,684	16 %
<b>営業利益</b>	2,491	1,519	972	64 %	2,215	735	1,480	NM
<b>営業外経費：</b>								
支払い利子、正味	(203)	(269)	66	(25) %	(430)	(543)	113	(21) %
投資による利益（損失）、正味	128	(221)	349	NM	251	(368)	619	NM
負債償還による損失	(29)	(41)	12	(29) %	(50)	(66)	16	(24) %
年金および関連する（費用）/福利厚生	(61)	73	(134)	NM	(122)	145	(267)	NM
雑勘定、正味	(9)	(28)	19	(68) %	(52)	(70)	18	(26) %
営業外経費合計、正味	(174)	(486)	312	(64) %	(403)	(902)	499	(55) %
<b>所得税引前利益/（損失）</b>	2,317	1,033	1,284	NM	1,812	(167)	1,979	NM
<b>所得税引当</b>	(490)	(298)	(192)	64 %	(348)	(38)	(310)	NM
<b>純利益/（損失）</b>	\$ 1,827	\$ 735	\$ 1,092	NM	\$ 1,464	\$ (205)	\$ 1,669	NM
<b>1株当たり基本利益/（損失）</b>	\$ 2.86	\$ 1.15			\$ 2.29	\$ (0.32)		
<b>1株当たり希釈利益/（損失）</b>	\$ 2.84	\$ 1.15			\$ 2.28	\$ (0.32)		
<b>株式発行高基本加重平均</b>	639	638			639	638		
<b>株式発行高希釈加重平均</b>	642	641			642	638		

**デルタ航空**  
**旅客収益**  
**(未監査)**

(単位：百万ドル)	6月30日までの 3ヶ月間				6月30日までの 6ヶ月間			
	2023年	2022年	\$増減	%増減	2023年	2022年	\$増減	%増減
	チケット - Main cabin	\$ 6,694	\$ 5,664	\$ 1,030	18 %	\$ 11,917	\$ 9,111	\$ 2,806
チケット - プレミアムプロダクト	5,135	4,109	1,026	25 %	9,151	6,648	2,503	38 %
ロイヤルティトラベルアワード	902	744	158	21 %	1,645	1,287	358	28 %
旅行関連サービス	474	441	33	7 %	903	819	84	10 %
<b>旅客収益</b>	<b>\$ 13,205</b>	<b>\$ 10,958</b>	<b>\$ 2,247</b>	<b>21 %</b>	<b>\$ 23,616</b>	<b>\$ 17,865</b>	<b>\$ 5,751</b>	<b>32 %</b>

**デルタ航空**  
**その他収益**  
**(未監査)**

(単位：百万ドル)	6月30日までの 3ヶ月間				6月30日までの 6ヶ月間			
	2023年	2022年	\$増減	%増減	2023年	2022年	\$増減	%増減
	精油所	\$ 965	\$ 1,514	\$ (549)	(36) %	\$ 1,882	\$ 2,700	\$ (818)
ロイヤルティプログラム	774	650	124	19 %	1,500	1,221	279	23 %
附属事業	214	206	8	4 %	445	416	29	7 %
雑勘定	248	224	24	11 %	513	410	103	25 %
<b>その他収益</b>	<b>\$ 2,201</b>	<b>\$ 2,594</b>	<b>\$ (393)</b>	<b>(15) %</b>	<b>\$ 4,340</b>	<b>\$ 4,747</b>	<b>\$ (407)</b>	<b>(9) %</b>

**デルタ航空**  
**収益合計**  
**(未監査)**

収益	2023年第2四半期 (百万ドル)	増(減)			
		2023年第2四半期と2022年第2四半期の比較			
		増減	単位収益	イールド	輸送容量
米国内線	\$ 8,944	8%	(1)%	0%	9%
大西洋路線	2,803	65%	22%	17%	35%
中南米路線	926	24%	16%	11%	7%
太平洋路線	532	175%	29%	0%	113%
<b>旅客収益</b>	<b>\$ 13,205</b>	<b>21%</b>	<b>3%</b>	<b>2%</b>	<b>17%</b>
<b>貨物収益</b>	<b>172</b>	<b>(37)%</b>			
<b>その他収益</b>	<b>2,201</b>	<b>(15)%</b>			
<b>収益合計</b>	<b>\$ 15,578</b>	<b>13%</b>	<b>(4)%</b>		
サードパーティの精油所売上	(965)				
<b>収益合計、調整済み</b>	<b>\$ 14,613</b>	<b>19%</b>	<b>1%</b>		

**デルタ航空**  
**統計サマリー**  
**(未監査)**

	6月30日までの			6月30日までの		
	3ヶ月間		増減	6ヶ月間		増減
	2023年	2022年		2023年	2022年	
旅客マイル売上 (百万)	60,804	51,519	18 %	110,491	90,218	22 %
有効座席マイル (百万)	68,993	58,903	17 %	130,345	110,713	18 %
旅客マイル利回り (セント)	21.72	21.27	2 %	21.37	19.80	8 %
有効座席マイル当たりの旅客売上 (セント)	19.14	18.60	3 %	18.12	16.14	12 %
有効座席マイル当たりの売上合計 (セント)	22.58	23.47	(4) %	21.74	20.93	4 %
調整済み TRASM - 注 A 参照 (セント)	21.18	20.90	1 %	20.30	18.49	10 %
有効座席マイル当たりのコスト (セント)	18.97	20.89	(9) %	20.04	20.27	(1) %
CASM-Ex - 注 A 参照 (セント)	13.06	12.76	2 %	13.44	12.98	4 %
搭乗率	88 %	87 %	1 pt	85 %	81 %	4 pts
消費燃料 (百万ガロン)	997	863	16 %	1,885	1,613	17 %
1 ガロン当たりの平均燃料価格	\$ 2.52	\$ 3.74	(33) %	\$ 2.75	\$ 3.29	(16) %
燃料 1 ガロン当たり平均価格、調整済み - 注 A 参照	\$ 2.52	\$ 3.82	(34) %	\$ 2.77	\$ 3.34	(17) %

**デルタ航空**  
**連結キャッシュフロー計算書**  
**(未監査)**

6月30日までの

3ヶ月間

(単位：百万ドル)

2023年                      2022年

**営業活動によるキャッシュフロー：**

純利益	\$ 1,827	\$ 735
減価償却	573	510
エアートラフィックライアビリティの変更分	(766)	805
プロフィットシェアリングの変更分	595	54
バランスシートその他の変更、正味	380	431
<b>営業活動によるキャッシュフロー、正味</b>	<b>2,609</b>	<b>2,535</b>

**投資活動によるキャッシュフロー：**

不動産と機材の追加：		
前払い金を含む航空機材	(1,074)	(603)
不動産および技術を含む装置	(378)	(355)
短期投資の購入	(1,013)	(248)
短期投資の償還	1,064	943
その他、正味	19	112
<b>投資活動に使用したキャッシュフロー、正味</b>	<b>(1,382)</b>	<b>(152)</b>

**財務活動によるキャッシュフロー：**

負債とファイナンスリースの債務返済	(1,820)	(952)
その他、正味	(12)	(14)
<b>財務活動に使用したキャッシュフロー（正味）</b>	<b>(1,832)</b>	<b>(966)</b>

**現金と現金同等物、制限付き預金の増加／（減少）、正味**

期首時の現金および現金同等物、制限付き預金	3,429	8,135
期末時の現金および現金同等物、制限付き預金	<b>\$ 2,824</b>	<b>\$ 9,552</b>

以下の表は、連結バランスシートに記載した現金、現金同等物、制限付き預金を、上記に記載した各合計金額と照合したものです。

**流動資産：**

現金等価額	\$ 2,668	\$ 9,221
前払い費用その他に含まれている制限付き預金	156	154

**その他の資産：**

他の非流動資産に含まれている制限付き預金	—	177
現金、現金同等物、および制限付き預金合計	<b>\$ 2,824</b>	<b>\$ 9,552</b>

**デルタ航空**  
**連結バランスシート**  
**(未監査)**

(単位：百万ドル)	2023年 6月30日	2022年 12月31日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産：</b>		
現金等価額	\$ 2,668	\$ 3,266
短期投資	3,368	3,268
売掛金、正味	3,122	3,176
燃料在庫、拡張可能部品および備品在庫、正味	1,438	1,424
前払い費用とその他の項目	2,484	1,877
流動資産合計	<u>13,080</u>	<u>13,011</u>
<b>不動産と機材、正味：</b>		
不動産と機材、正味	<u>34,092</u>	<u>33,109</u>
<b>その他の資産：</b>		
オペレーティングリースの使用権資産	6,834	7,036
営業権	9,753	9,753
識別可能な無形資産、正味	5,988	5,992
株式投資	2,389	2,128
その他の固定資産	1,361	1,259
その他の資産合計	<u>26,325</u>	<u>26,168</u>
資産合計	<u>\$ 73,497</u>	<u>\$ 72,288</u>
<b>負債および資本の部</b>		
<b>流動負債：</b>		
負債とファイナンスリース返済	\$ 2,065	\$ 2,359
オペレーティングリースの当期満期分	699	714
エアトラフィックライアビリティ	10,422	8,160
買掛金	5,114	5,106
未払い給与と関連する福利厚生	3,340	3,288
ロイヤルティプログラム繰延収益	3,824	3,434
給油カード債務	1,100	1,100
その他の未払い負債	1,918	1,779
流動負債合計	<u>28,482</u>	<u>25,940</u>
<b>非流動負債：</b>		
負債およびファイナンスリース	18,140	20,671
年金、退職後、および関連する福利厚生	3,669	3,707
ロイヤルティプログラム繰延収益	4,443	4,448
当期満期分以外のオペレーティングリース	6,646	6,866
その他の非流動負債	4,017	4,074
非流動負債合計	<u>36,915</u>	<u>39,766</u>
<b>コミットメントと有事への対応</b>		
<b>自己資本：</b>		
	8,100	6,582
負債および資本合計	<u>\$ 73,497</u>	<u>\$ 72,288</u>

**注 A : GAAP に基づかない財務措置の調整内容を下表に示します。また、デルタ航空がそのような措置を講じる理由について、以下に説明します。丸め処理によって計算結果が一致しないことがあります。**

デルタ航空では「連結財務諸表」から派生する情報（GAAP に基づかない財務措置）を利用する場合がありますが、それは米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に従って提示されていません。証券取引委員会の規定に基づき、GAAP に基づかない財務措置は、GAAP に従って準備された結果とともに考慮すべきですが、GAAP の結果に代わるもの、あるいはそれよりも優れたものとして考えるべきではありません。本書で使用している GAAP に基づかない財務措置を、最も類似する GAAP 財務措置と比較した調整内容を下表に示します。

**将来予測 :** 以下を含む調整項目は期末まで不明で多額な場合があるため、デルタ航空では GAAP に基づかない財務措置による将来的な調整を容易に行うことができません。

**調整 :** この種の調整には GAAP 指標に対する特定の調整を含んでいます。該当する場合、こうした調整は以下のような理由で対象となる期間の比較を容易にするために行っています。

サードパーティの精油所売上：サードパーティの精油所売上と関連費用は航空セグメントとは無関係です。したがってこうした売上を除くことは、デルタ航空の航空事業による売上と航空業界の他社と比較する上で有意義なものになります。

ヘッジの MTM 調整および支払額：評価替え（「MTM」）調整額とは、決算期以外の期間に記録された評価額の変化を指します。こうした評価額の変化は、必ずしも約定取引期間内の基礎となるヘッジの実際の支払額を示すものではありません。したがってこうした影響を排除することで投資家の皆様が弊社の主要な業績を理解・分析しやすくなります。支払額とは該当する期間中にヘッジ契約に対して受領または支払った現金を指します。

再編費用：2020 年中は機材の減損処理や COVID-19 パンデミックに伴う戦略的なビジネス上の意思決定による希望早期退職および定年退職といった項目で再編費用を計上しました。2022 年中に当該再編費用の一部に対して調整を行ったため、計上費用の変更を行いました。

負債の償却による損失：この調整は負債の早期償還に関連するものです。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の損失を調整しています。

投資の MTM 調整：株式投資による未実現損益の評価額を営業外費用に計上しています。損益は株式の価格、外国為替の変動、株式未公開の企業についてはその他の評価方法によっても変動します。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の利益／損失調整を行っています。

#### 調整済み営業収益、および調整済み有効座席マイル当たりの収益合計（TRASM）

(単位：百万ドル)	2023 年 6 月 30 日			2022 年 9 月 30 日			2023 年第 2 四半期と 2022 年第 2 四半期の比較	
	までの 3 ヶ月間			までの 3 ヶ月間			%増減	
営業収益合計	\$	15,578	\$	13,975	\$	13,824		
以下調整済み：								
サードパーティの精油所売上		(965)		(1,134)		(1,514)		
調整済み営業収益合計	\$	14,613	\$	12,840	\$	12,311		19 %

	2023 年 6 月 30 日 までの 3 ヶ月間	2022 年 6 月 30 日 までの 3 ヶ月間	% 増減
TRASM (セント)	22.58	23.47	
以下調整済み：			
サードパーティの精油所売上	(1.40)	(2.57)	
調整済み TRASM	21.18	20.90	1 %

	2023 年 6 月 30 日 までの 6 ヶ月間	2022 年 6 月 30 日 までの 6 ヶ月間
TRASM (セント)	21.74	20.93
以下調整済み：		
サードパーティの精油所売上	(1.44)	(2.44)
調整済み TRASM	20.30	18.49

2022年12月31日

までの1年間

(単位：百万ドル)		
営業収益合計	\$	50,582
以下調整済み：		
サードパーティの精油所売上		(4,977)
調整済み営業収益合計	\$	45,605

## 調整済み営業利益

(単位：百万ドル)		2023年6月30日 までの3ヶ月間	2022年6月30日 までの3ヶ月間
営業利益	\$	2,491	\$ 1,519
以下調整済み：			
ヘッジのMTM調整および支払額		3	(73)
再編費用		—	(1)
調整済み営業利益	\$	2,494	\$ 1,445

## 調整済み営業利益率

		2023年6月30日 までの3ヶ月間	2022年6月30日 までの3ヶ月間
営業利益率		16.0 %	11.0 %
以下調整済み：			
ヘッジのMTM調整および支払額		—	(0.5)
サードパーティの精油所売上		1.1	1.3
調整済み営業利益率		17.1 %	11.7 %

## 税引前利益、純利益、および一株当たり希釈利益、調整済み

	2023年6月30日までの 3ヶ月間			2023年6月30日までの 3ヶ月間
	税引前	所得税	純益	利益
(株式データを除き単位は百万ドル)	利益			希釈後、一株当たり
GAAP	\$ 2,317	\$ (490)	\$ 1,827	\$ 2.84
以下調整済み：				
ヘッジのMTM調整および支払額	3			
負債償還による損失	29			
投資のMTM調整	(128)			
GAAPに基づかない	\$ 2,220	\$ (498)	\$ 1,723	\$ 2.68

	2022年6月30日までの 3ヶ月間			2022年6月30日までの 3ヶ月間
	税引前	所得税	純益	利益
(株式データを除き単位は百万ドル)	利益			希釈後、一株当たり
GAAP	\$ 1,033	\$ (298)	\$ 735	\$ 1.15
以下調整済み：				
ヘッジのMTM調整および支払額	(73)			
負債償還による損失	41			
投資のMTM調整	221			
再編費用	(1)			
GAAPに基づかない	\$ 1,222	\$ (300)	\$ 921	\$ 1.44

税引前利益率、調整済み：

	2023年6月30日 までの3ヶ月間	2022年6月30日 までの3ヶ月間
税引前利益率	14.9 %	7.5 %
以下調整済み：		
サードパーティの精油所売上	0.9	1.1
ヘッジの MTM 調整および支払額	—	(0.5)
負債償還による損失	0.2	0.3
投資の MTM 調整	(0.8)	1.6
税引前利益率、調整済み	15.2 %	9.9 %

**営業キャッシュフロー、調整済み：** 経営陣はこの種の調整を行うことが投資家の皆様にとって有効な判断材料になると考えているため、デルタ航空は調整済み営業キャッシュフローを明らかにしています。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー： 特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAP の営業活動に含んでいます。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空の営業キャッシュフローについて投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

(単位：百万ドル)

	2023年6月30日 までの3ヶ月間	2022年6月30日 までの3ヶ月間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 2,609	\$ 2,535
調整：		
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	38	(70)
営業活動による正味キャッシュフロー、調整済み	\$ 2,648	\$ 2,465

**フリーキャッシュフロー**：デルタ航空ではフリーキャッシュフローを提示していますが、これは経営陣が、同指標によって、投資家の皆様が債務返済や全般的な企業活動に利用できる弊社の現金創出能力を評価しやすくなると考えているためです。フリーキャッシュフローは2023年のインセンティブ報酬プログラムの一部にも使用しています。フリーキャッシュフローとは営業活動と投資活動による正味現金に対して、(i) 短期投資の購入（償還）、正味、(ii) 戦略的投資およびその関連、(iii) 特定の空港建設プロジェクトおよびその他、(iv) 融資による航空機獲得、(v) パイロット契約に伴う支払いに関連する調整を行ったものです。この種の調整は以下の理由で行っています。

短期投資の正味購入/（償還）：短期投資の正味購入/（償還）額は、収益と損失を含む当期間中の投資および有価証券の正味購入・売却金額を表します。これに伴う調整により、投資家の皆様が営業活動で得たフリーキャッシュフローの状況をより良く理解できると考えたからです。

戦略的投資および関連費用：他の航空会社への投資および関連する取引に関する特定のキャッシュフローはGAAPでは投資活動に含まれています。この活動については調整を行うことで、航空業界他社との有意義な比較が行えます。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAPの運転支出および資本支出に含んでいます。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空のフリーキャッシュフローと資本支出について投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

航空機取得のための資金調達：この調整は資本支出としてリースされている航空機の納入を反映したものです。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

パイロット契約に伴う支払い：2023年第1四半期中にデルタ航空のパイロットは2023年1月1日から新たに有効な4年間のパイロット雇用契約を承認しました。この契約によって雇用条件が多数変更され、4年間の昇給率が高くなりました。最初の昇給率は18%です。この契約には2023年の第1四半期中の承認時に一時金として7億3500万ドルを支払うことも定められています。これに伴う調整により、投資家の皆様が継続的なフリーキャッシュフローをより良く理解できると考えたからです。

(単位：百万ドル)	2023年6月30日 までの3ヶ月間	2022年6月30日 までの3ヶ月間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 2,609	\$ 2,535
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味	(1,382)	(152)
以下調整済み：		
短期投資の正味購入/（償還）	(51)	(695)
戦略的投資および関連費用	—	(105)
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	81	94
航空機取得のための資金調達	(162)	(69)
フリーキャッシュフロー	\$ 1,094	\$ 1,608

(単位：百万ドル)	2023年6月30日 までの6ヶ月間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 4,843
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味	(2,482)
以下調整済み：	
短期投資の正味購入/（償還）	50
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	101
航空機取得のための資金調達	(299)
パイロット契約に伴う支払い	735
フリーキャッシュフロー	\$ 2,948

**調整済み純負債：**デルタ航空では金融債務の予測値を提示するために、調整済み負債やファイナンスリースに加え、航空機のレンタル料を含む、調整済み負債総額を採用しています。デルタ航空は調整済み負債合計総額から現金、現金相当物、短期投資、LGA 制限付き現金を減額しています。その結果、調整済み純負債は、負債負担に必要な資本額を示すこととなります。経営陣は同指標により、投資家の皆様が弊社の全体的な負債状況を評価するのに役立つと考えています。

(単位：百万ドル)	2023年		2022年		2023年第2四半期と 2022年第4四半期の比較 増減
	6月30日	12月31日	6月30日	6月30日	
負債とファイナンスリースの債務	\$ 20,205	\$ 23,030	\$ 24,839		
および：売上-リースバック融資負債	1,912	2,180	2,208		
および：未償却割引／（プレミアム）および債券発行費用、正味、その他	99	138	176		
調整済み負債とファイナンスリースの債務	\$ 22,216	\$ 25,349	\$ 27,222		
および：7x 型の 12ヶ月間の航空機レンタル料	3,661	3,558	3,303		
調整済み負債総額	\$ 25,877	\$ 28,906	\$ 30,525		
現金、現金相当物、短期投資を除外	(6,037)	(6,603)	(10,948)		
調整済み純負債	\$ 19,841	\$ 22,303	\$ 19,578		\$ (2,462)

#### 燃料以外の調整済み費用と燃料以外の単位費用または有効座席マイル当たりの費用 ("CASM-Ex")

以下に示す理由により、上記および以下に記載する項目について営業経費と CASM を調整しています。

航空機用燃料と関連税：燃料価格の変動性は、前年比の財務実績の比較可能性に影響を及ぼします。燃料費や関連税の調整によって、投資家は燃料以外のコストと前年比の財務実績を理解し、分析することができます。

プロフィットシェアリング：利益分配（プロフィットシェアリング）費用の調整によって、投資家の皆様が弊社の経常費用のコストパフォーマンスについて理解・分析しやすくなり、主要な経費を航空業界基準と有効に比較できるようになります。

パイロット契約に伴う一回限りの費用：2023年第1四半期中にデルタ航空のパイロットは2023年1月1日から新たに有効な4年間のパイロット雇用契約を承認しました。この契約によって雇用条件が多数変更され、4年間の昇給率が高くなりました。最初の昇給率は18%です。この契約には2023年の第1四半期中の承認時に一時金として7億3500万ドルを支払うことも定められています。さらに他の福利厚生項目として約1億3000万ドル分の調整も計上しました。この種の費用の調整は、投資家の皆様が弊社の主要な業務実績を理解・分析するのに役立ちます。

(単位：百万ドル)	2023年6月30日 までの3ヶ月間		2022年6月30日 までの3ヶ月間	
	営業経費	\$ 13,087	\$ 12,305	
以下調整済み：				
サードパーティの精油所売上	(965)	(1,514)		
航空機用燃料と関連税	(2,516)	(3,223)		
プロフィットシェアリング	(595)	(54)		
再編費用	—	1		
燃料以外の費用	\$ 9,011	\$ 7,516		

	2023年6月30日 までの3ヶ月間			2022年9月30日 までの3ヶ月間		2022年6月30日 までの3ヶ月間		2023年第2四半期と 2022年第2四半期の比較 %増減
	CASM (単位：セント)	18.97	19.87	20.89				
以下調整済み：								
サードパーティの精油所売上	(1.40)	(1.80)	(2.57)					
航空機用燃料と関連税	(3.65)	(5.26)	(5.47)					
プロフィットシェアリング	(0.86)	(0.38)	(0.09)					
CASM-Ex	13.06	12.43	12.76				2.4 %	

	2023年6月30日 までの6ヶ月間	2022年12月31日 までの6ヶ月間	2022年6月30日 までの6ヶ月間
CASM (単位: セント)	20.04	19.98	20.27
以下調整済み:			
サードパーティの精油所売上	(1.44)	(1.86)	(2.44)
航空機用燃料と関連税	(3.98)	(5.03)	(4.80)
プロフィットシェアリング	(0.51)	(0.41)	(0.05)
パイロット契約に伴う一回限りの費用	(0.66)	—	—
再編費用	—	0.10	0.01
CASM-Ex	13.44	12.77	12.98

#### 調整済み営業経費

(単位: 百万ドル)	2023年6月30日 までの3ヶ月間	2022年6月30日 までの3ヶ月間
営業経費	\$ 13,087	\$ 12,305
以下調整済み:		
ヘッジの MTM 調整および支払額	(3)	73
サードパーティの精油所売上	(965)	(1,514)
再編費用	—	1
調整済み営業経費	\$ 12,119	\$ 10,866

#### 燃料費合計、1 ガロン当たりの調整済み平均燃料価格

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	6月30日までの		% 増減	1 ガロン当たりの平均燃料価格		% 増減
	3ヶ月間	3ヶ月間		6月30日までの	6月30日までの	
	2023年	2022年		3ヶ月間	3ヶ月間	
燃料費合計	\$ 2,516	\$ 3,223		\$ 2.52	\$ 3.74	
以下調整済み:						
ヘッジの MTM 調整および支払額	(3)	73		—	0.08	
調整済み燃料費合計	\$ 2,513	\$ 3,296	(24) %	\$ 2.52	\$ 3.82	(34) %

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	6月30日までの		% 増減	1 ガロン当たりの平均燃料価格		% 増減
	6ヶ月間	6ヶ月間		6月30日までの	6月30日までの	
	2023年	2022年		6ヶ月間	6ヶ月間	
燃料費合計	\$ 2.75	\$ 3.29		\$ 2.75	\$ 3.29	
以下調整済み:						
ヘッジの MTM 調整および支払額	0.02	0.05		0.02	0.05	
調整済み燃料費合計	\$ 2.77	\$ 3.34		\$ 2.77	\$ 3.34	

**資本支出合計：**資本支出合計を特定するため、以下に記載した理由で以下の項目の資本支出を調整しています。

航空機取得のための資金調達：資本支出としてリースで取得している航空機の納品を反映するために資本支出を調整しています。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローが資本支出に含まれています。これら空港建設プロジェクトの資本支出の一部は当該プロジェクトに限定された現金、またはサードパーティによる補填分でまかなっていることを投資家の皆様にお伝えすべきだと経営陣が判断したため、こうした項目を調整しています。

(単位：百万ドル)	2023年6月30日 までの3ヶ月間		2022年6月30日 までの3ヶ月間	
前払い金を含む航空機材	\$	1,074	\$	603
不動産および技術を含む装置		378		355
以下調整済み：				
航空機取得のための資金調達		162		69
特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー		(42)		(163)
資本支出合計	\$	1,572	\$	864